



【本校の教育目標】
ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

「変革・挑戦」安久小学校便り

令和元年

12月24日発行

第2学期終了(授業日82日)

でしたが、保護者の皆様や地域の皆様方の御理解と御協力により、実りある教育活動を展開することができました。その中で、大きな事故やけがもなく、児童が安全に過ごせたことが何よりも嬉しいことです。心より感謝申し上げます。【絆】

さて、いよいよ明日から冬休みに入ります。年末・年始は車の往来も多く、何かと忙しい時期です。交通事故に遭わないように、生活のきまりを守って、有意義な冬休みにして欲しいと願っています。第3学期の始業日は、1月7日(火)です。

冬休み、特にお願ひしたいことは、下記のとおりです。



※ 冬休み終了後は、
むし歯治療が完全に
に終わるように、お
願いします。
痛い思いをする児
童がいないように！

※ むし歯治療が終わっていない児童の数(未治療者／う歯保有者)

第1学年-7/15名、第2学年-8/12名、第3学年-7/13名、第4学年-8/10名
第5学年-2/3名、第6学年-3/6名、
合計35/59名

ベストリーダー 多読賞・認定証

読書は、学力向上とともに、心豊かに、魅力ある人づくりにもつながるもので。本校の本年度の学校経営ビジョンの中にも、「読書環境の整備充実により、年間読書冊数の達成による知の糧づくり」と明記し、年間目標冊数を低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊と設定し、学期ごとの多読賞とともに、達成者には認定証を発行して表彰しています。市図書館サポーターの中野沙代子さんと本校の図書主任の平松由季教諭、司書補(PTA雇用)の辻慶子さんの連携と努力、更に読み聞かせの方々の御尽力で、読書好きな児童が育っています。【やる気・気づき】



多読賞(第2学期分)【敬称略】		
学年	冊数	氏名
1年	95	●●● ●●
	95	●● ●●
	81	●● ●●
	80	●● ●●
	80	●● ●●
2年	102	●● ●●
	88	●● ●●
	86	●● ●●
	80	●● ●●
	77	●● ●●
3年	71	●● ●●●
	57	●● ●●
	56	●● ●●●
	52	●● ●●●
	42	●● ●●●

各学年の認定証受賞者数			
学年	人数	学年	人数
1年	14	4年	4
2年	15	5年	14
3年	4	6年	3
合計		54名	

各学年のトップ賞(累計)			
学年	冊数	氏名	
1年	168	●●● ●●	
2年	192	●● ●●	
3年	151	●● ●●●	
4年	156	●● ●●	
5年	160	●● ●●	
6年	165	●● ●●	

※ 第1学期・第2学期を通して、年間目標冊数を達成した人数は、全体の約20%です。残り3か月でどれくらいの児童が達成するか期待しています。学年が進むにつれて、個人差が大きくなっているようです。冬休みを利用して、多くの書物にふれ、心を耕してほしいですね。【気づき】6年生にとっては、小学校最後の冬休みです。計画を立て、充実した日々にしましょう。

中郷地区青少年育成協議会

『心が元気ホーラル』

12月10日(火)、標記の会を中郷地区市民センターで開催しました。御多用の中、たくさん

の会員の皆様が出席してくださいました。最初に、意見発表を行いました。本校より、第6学年の●●●●さんが、堂々とした発表態度で、体験を通して学んだことを自分の将来の夢への一歩として述べました。素晴らしい発表で、誇らしく感じました。【気づき】

次に、善行児童・生徒表彰を行いました。本校からは、第6学年の●●●●さんが受賞しました。受賞理由は、文武両道、模範となる行動でした。授業に積極的に臨み、常に落ち着いた言動で生活し、野球少年団「やっさ昂」に所属し、主将として部員をまとめていることが主な理由でした。おめでとうございます。【やる気・気づき・根気】

その後、各学校の生徒指導主事(本校:平田淑江教諭)から、学校生活の現状と冬休みの生活についての話があり、最後に中郷駐在所の宮地様から、管内の児童生徒の非行状況についての説明がありました。

「ダンスが教えてくれたもの」 6年 ●●●●

私は、6年生になり、安久小学校で過ごす最後の1年は、毎日を大切に過ごすこと、そして、みんなのために自分ができることを何でもやろうと決意しました。

授業では、積極的に発表し、分からぬ人がいたら自分から教える、話し合い活動では協力して意見をまとめていくことを心がけました。また、放送委員会では、当番の日までにしっかりと練習し、みんなに分かりやすく伝えるようにしました。

特に、小学校最後の運動会は、みんなで協力して最高の運動会にしたいと思っていました。運動会に向けての係決めで、私は応援リーダーに立候補しましたが、希望者が多く惜しくもリーダーになることができませんでした。来年入学する1年生の競技を補助する係になりましたが、それだけでは何か物足りなく感じていました。

そんなときです。担任の先生が、「今年の5・6年生のダンスは実行委員会を中心に振付を考えたりみんなに教えたりしてほしい。」とおっしゃいました。私は、迷わずダンス実行委員に立候補しました。

ダンス実行委員のメンバーは、6年生7人、5年生6人の計13人でした。実行委員以外の6年生も協力的で、振付のアイデアをたくさん出してくれたので、やる気がさらにわいてきました。

私は、家に帰ってからも、どんな振付を入れれば格好よくなるか、インターネットの動画を調べました。振付が難しいところやリズムが合いにくいところは、練り返し練習を重ねました。

また、ダンスを5年生にも分かりやすく教えるように工夫しました。まずは、昼休みに5年生のダンス実行委員に振付を教えました。ダンスの振付を細かい部分まで教えるのは、自分が覚える以上にとても難しかったです。私たちが5年生のときは、6年生が教室に来てダンスを教えてくれました。分からないときは、細かい部分までていねいに教えてくれました。

だから、私たちもしっかりと間違わずに踊れるようになりました。その頃を思い出しながら、5年生に分かりやすく教えるように心がけました。

6年生の実行委員は、みんなの前で教えるための練習もしました。音楽を流して、この歌詞の部分にはどんな振付が合っているか、体を動かしながら話し合ってきました。いい振付が決まったときには、みんなで盛り上りました。たまには息抜きで、去年の6年生と踊ったダンスを踊りました。全員のダンスがそろわず、何度も繰り返し練習した部分もありましたが、全員がそろって踊れたときには、大きな達成感がありました。

ついに運動会当日がやってきました。少し緊張はありましたが、今までがんばって練習してきたことを出しきって、大きく踊りました。ときどき母と目が合って、さらに緊張しましたが、無事に間違えずに踊ることができました。終わった後の大きな拍手は、今ではっきり覚えています。

母も、「実行委員のみんなといろんな表現の案を出し合しながら、放課後遅くまでがんばってダンスの練習をしていたのは知っていたけれど、本番で初めてみんなのダンスを見て、子どもたちだけでここまで創り上げ、いろいろな表現で踊っている姿に感動し、最後の決めポーズを見たときは涙が出た。」と話してくれました。

小学校最後の運動会は、私にとって忘れられないものとなりました。それは、目標に向かってみんなで協力し合い、本番で努力した成果を発揮できたという達成感を味わえたからだと思います。

この経験は、私にとって大きな自信となりました。これからは、6年生になって立てた『みんなのために自分ができることを何でもやる。』という初心を忘れず、安久小学校が全校で取り組んでいる朝のボランティア活動や空き缶回収はもちろんのこと、人のためになることを見つけ、行動に移していきます。それが、看護師になるという私の夢に近づく第一歩になると信じ、小さなことから努力していきます。

宇宙船地球号 プロジェクト

に提案し、上記のプロジェクトを開始しました。

6年生からは、プラスチックのボトルキャップとベルマーク、空き缶のリングブル、古着、使用済み切手の回収による恵まれない子どもを救うユニセフ活動への参加の提案がありました。集められたものが、予防接種のワクチンや車椅子等に換えられて、支援されます。地域の松崎様から、大きなビニル袋一杯のボトルキャップをいただきました。ありがとうございました。

運営委員会からは、歳末助け合い運動としての募金の呼びかけがありました。募金は、総額12588円集まり、12月13日(金)に本校職員が、都城市社会福祉協議会に届けました。皆様の御協力ありがとうございました。【気づき・絆】

12月2日(月)
の全校集会で、6
年生と運営委員
会が、全校児童



受賞おめでとう!

◇宮崎県読書感想文コンクール
入選 2年 ●● ●●さん

◇西日本読書感想文コンクール
入選 4年 ●● ●さん

◇イワミツスポーツ杯
第3位 安久少女バレー

◇市ジュニア・中学生冬季バドミントン大会B級男子
優勝 6年 ●● ●●さん